

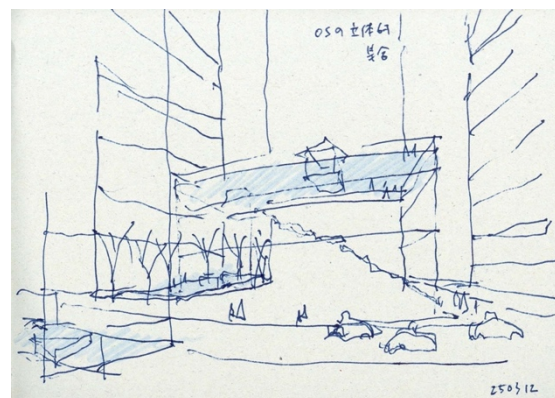
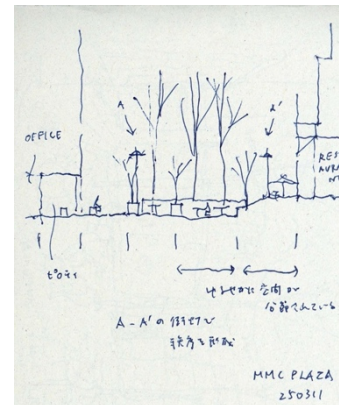
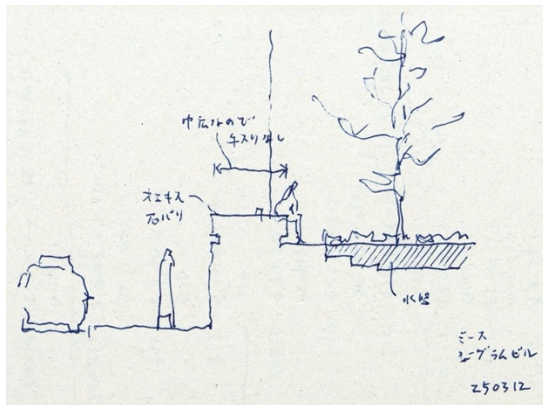
オープンスペースと建築が融合したデザイン手法の開発に関する研究



早稲田大学創造理工学部建築学科 教授 田中智之

ニューヨーク市マンハッタン地区におけるオープンスペース（以下 OS）と建築が良質な関係を持つ事例についての現地調査を行い、以下の予備的知見を得た。

- ・ 「代表的なオープンスペースの事例」では一体的かつ広大な OS の中で、建築の付近で緩やかな空間分節を行う基壇等のデザイン、パークマネジメントとしても効果的な建築の配置計画が確認できた。
- ・ 「ビルと道路の間に設けられたオープンスペースの事例」では、建築との連続性、一体性を持つ外構の造作が良質なランドスケープや景観を形成していることが確認できた。
- ・ 「ビルとビルの狭間に設けられたオープンスペースの事例」では、建築のピロティやレストランと連携した OS の中で、適度な空間分節がヒューマンスケールの居場所と全体としての開放感や一体感を両立するメカニズムが確認できた。
- ・ 「建築に囲まれたポケットパーク型オープンスペースの事例」では、OS を空間的にまとめる意匠や機能的に支援する諸室が配されることで、周囲のビル群に囲まれている自然な感じと、整えられた意匠や機能によるまとまり感が同居した、自然性と計画性の両立が確認できた。
- ・ 「立体的に構成されたオープンスペースの事例」では、近接した複数の OS により、立体的な見る／見られるの相互関係が生まれ、休息の場だけでなく劇場性を感じる、都市の醍醐味を体現する刺激的な関係が確認できた。



オープンスペースと建築が良質な関係を持つ事例についての現地スケッチ